

# 教員の養成の状況についての情報

教育職員免許法施行規則第22条の6に規定されている情報を下記の通り公開する。

## 第1号 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

### ■全学

神戸女学院大学は、永久標語である「愛神愛隣」の精神のもと、高い教養と専門的知識、そして広い視野と的確な判断力を持ち、自らが身を置いた事態や環境の中で、それぞれの使命を自覚し、地域社会や国際社会に貢献できるような女性の育成を教育理念としている。以上の理念に基づき、本学では、優れた女性教員の養成を目的として教職課程を設置しており、教職課程を履修する学生を対象に、学年別の教職課程オリエンテーション、介護等体験及び教育実習の事前指導、現職教員による講演会の実施など、教職全般にわたるきめ細かな指導を行っている。

### ▶文学部 英文学科、国際学部 英語学科

#### 中一種免（英語）・高一種免（英語）

本学は1875年の学院創立当初より書き言葉だけでなく話し言葉としての英語教育に力を入れてきた。その伝統を踏まえ、現在、本学文学部英文学科および国際学部英語学科では、様々な場面で活かせる英語コミュニケーション能力と、生涯学び続けることへの意欲と自信につながる生きる力を身に着けることを目指した教育研究活動を行っている。教職課程履修者は、本学科の講義を通して英語に関する幅広い知識や専門性を、海外へのフィールドスタディでは主体性と協調性、コミュニケーション能力を、そして3、4年生ゼミでは、英語5,000words以上の卒業論文作成を通して研究能力を、さらに、模擬授業も課される英語科教育法では、教案作成や授業観察・批評の演習におけるきめ細やかな指導の下、指導技術を修得している。以上の修得内容に基づき、英語科教職課程の設置趣旨は、生徒の英語という言葉やそれにまつわる文化に対する興味・関心を向上させることのできる中学校・高等学校英語科教員の養成にある。

### ▶文学部 総合文化学科

#### 中一種免（社会）・高一種免（地理歴史）・高一種免（公民）

#### 中一種免（国語）・高一種免（国語）

本学文学部総合文化学科は、専門知識を追求すると同時に、専門外の隣接諸領域に関しても幅広い知識を高めることができる学びの形を提供している。専門科目は、教育学や国際関係、歴史、文化、文学に関する専攻科目群など、計8専攻科目群から成る。履修者たちは、教職課程履修と関連づけながら主専攻科目群として選んだ分野を深く学び、生徒の学びに対する興味・関心を向上させることのできる豊かな基礎知識を備えた専門性の高い中学校・高等学校教員を養成することを目指している。社会・地理歴史・公民または国語のいずれかを選択した教職課程履修者は、本学科の講義や演習を通してそれぞれに関する幅広い知識や専門性を修得し、卒業研究を通してそれぞれに関する研究方法を、さらに、教科教育法や教育実習などを通して指導技術を修得する。

## ▶音楽学部 音楽学科

### 中一種免（音楽）・高一種免（音楽）

本学音楽学部音楽学科においては、音楽実技、音楽専門科目、音楽教育、音楽ビジネスを中心に教育研究活動を行っている。教職課程履修者は本学科の実技科目、講義、実習などを通して音楽に関する演奏法、表現法などを身に付け、さらに音楽科教育法、教育実習などを通し、指導技術を修得する。これらに基づき、音楽教職課程の設置趣旨は、生徒の音楽に対する興味、関心を向上させ、さらには音楽実技のレベル向上を図ることのできる中学校、高等学校音楽科教員の養成にある。

## ▶人間科学部 環境・バイオサイエンス学科、生命環境学部 生命環境学科

### 中一種免（理科）・高一種免（理科）

本学人間科学部環境・バイオサイエンス学科および生命環境学部生命環境学科では、女子学生を対象とした科学教育、とりわけ、環境科学と生命科学の二つの柱を中心とした教育研究活動を行っている。教職課程履修者は、本学科の講義や実習を通して科学に関する幅広い知識や専門性を、卒業研究を通して科学に関する研究方法を、さらに、理科教育法や教育実習などを通して指導技術を修得する。以上の修得内容に基づき、理科教職課程の設置趣旨は、生徒の理科に対する興味・関心を向上させることのできる中学校・高等学校理科科教員の養成にある。

## ▶文学研究科 英文学専攻

### 中専免（英語）・高専免（英語）

本大学院文学研究科英文学専攻では、シェイクスピアの時代から現代にいたる英米の文学作品、英語学・言語学の基礎理論・方法論、グローバル理論、さらに通訳の理論と技術について専門的な教育研究活動を行っている。学部で既に中学校・高等学校一種免許を取得している大学院生は、2年間の大学院教育を通して、広い視野に立った豊かな学識や研究能力の修得、及び、高度な専門職業能力を養うことを目的に実践的な研究を進めている。以上の修得内容に基づき、英語科教職課程の設置趣旨は、生徒たちの英語という言葉やそれにまつわる文化に対する興味・関心や、英語に関連した研究意欲を向上させることができ、将来中学校・高等学校において中核的な役割を果たす英語科教員の養成にある。

## ▶文学研究科 比較文化学専攻

### 中専免（社会）・高専免（地理歴史）

### 中専免（国語）・高専免（国語）

本大学院文学研究科比較文化学専攻は、「自文化についての十分な理解」および「異文化理解、異文化とのコミュニケーション」を通じて比較文化学研究を遂行する。比較文化学研究の基盤となる汎通性の高い学術領域である哲学・美学・思想・教育、歴史学、文学および社会科学の諸分野をふまえて横断的に学び、併せて日本文化を通文化的な視点からとらえ直すことができる本専攻での学びは、自国文化と他の文化の「あいだ」において知的に適切にふるまうことのできる学術的能力の獲得を可能とする。地理歴史の専修免履修者は自国文化についての諸研究と社会科学の手法を用いた比較文化の諸研究、社会科の専修免履修者はそれに加えて思想や宗教学を比較文化的に扱う専門的知識を修得し、それぞれ修士論文を通してそれらの知識を統合する術を研究実践によって獲得する。文学・思想研究と歴史研究を軸として、日本をはじめとする諸地域の個々の文化の

探究と、異文化理解の促進と深化を目指す本専攻が養成したいと考える力、すなわち自分自身の立ち位置を反省しつつ学術的知見を深めていった先に可能となる「他者への開かれ」を導くような知性は、社会科・地理歴史科の専修免取得者が今日備えておくべき教育力にもつながると考えられる。

また、文学研究科比較文化学専攻の前身である日本文化学専攻は、当時の学部のカリキュラムにおける「日本文化系」と「西洋文化・思想史」の上層に設置された課程であり、当初より日本文化の専門研究と関わりが深い。比較文化的なアプローチによる日本文化研究を目指す課程として設置された本専攻は、その教育課題として、日本文化の深層構造の解明と異文化コミュニケーションの達成を掲げ、文化・思想・宗教・伝統・習俗・歴史・芸術その他の視点から、日本、東洋、西洋を比較研究することを通じて、現代人に求められる比較文化的な思索と判断力の基礎的な研究の場を提供してきた。また日本文化についての十分な理解の涵養と、異文化理解、異文化コミュニケーションの深化を促進することを念頭に置き教育を行ってきた。本課程履修者は、「話す・聞く」、「書く」「読む」という言語活動に直結する力を養いながら総合的な国語力を培い、伝統的な言語文化に関わる事柄を含む教科「国語」に関する高度な専門的知識を学ぶとともに、教科「国語」に関わる事柄をテーマとした修士論文作成を進めることによって、国語を正確に理解し適切に表現する能力を育成し、伝える力、書く力を高めていくことができる。こうした学びを通じて養成されるのは、国語に対する深い認識と、国語を尊重する姿勢である。本課程ではこのように、国語科専修免許取得者に求められる総合的な資質開発を積極的に行いつつ、教育現場で要請される幅広い教養、汎用性と応用力を備えた指導力を育成し、より専門性の高い教科「国語」への教育力を有する人材を輩出することを目指している。

## ▶人間科学研究科 人間科学専攻

### 中専免（理科）・高専免（理科）

本大学院人間科学研究科人間科学専攻では、人間の心や行動、身体、さらに人間をとりまく環境について専門的な教育研究活動を行っている。中学校・高等学校理科教員の養成に関わるのは、環境科学の分野である。学部ですでに中学校・高等学校一種免許を修得している院生は、2年間の大学院教育を通してより専門的な知見を深化させる。教職課程履修者は、本研究科の講義や実習を通して科学に関する高度な専門性を、修士論文の作成や学会発表を通して科学に関する高度な研究手法を修得する。以上の修得内容に基づき、理科教職課程の設置趣旨は、生徒の理科に対する興味・関心や科学に関連した研究意欲を向上させることができ、将来中学校・高等学校において中核的な役割を果たす理科教員の養成にある。

## ▶音楽研究科 音楽芸術表現専攻

### 中専免（音楽）・高専免（音楽）

本大学院音楽研究科音楽芸術表現では器楽、声楽、作曲といった個々の専攻を設けず、有機的に「音楽芸術表現専攻」の一専攻とし、学生が各々の研究成果を持ち寄り交流し、刺激し、啓発しあうことを重視し、音楽を総合的に理解し把握する力を養うための組織や科目構成を行っている。学部で中学校、高等学校一種免許を修得している大学院生は、2年間の大学院教育を通じ、より専門的な実技レベルを高め、幅広く知見を深める。以上の修得内容に基づき、音楽教職課程の設置趣旨は、生徒の音楽に対する興味・関心、研究意欲を高め、音楽実技レベルを向上させ、中学校・高等学校において、より専門性の高い音楽科教員の養成にある。

## 第2号 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

### ●教員の養成に係る組織

学部（取得可能免許：中高一種免許状）

		中学校	高等学校
国際学部	英語学科	英語	英語
文学部	英文学科	国語	国語
	総合文化学科	社会	-
		-	地理歴史
		-	公民
音楽学部	音楽学科（舞踊専攻は除く）	音楽	音楽
生命環境学部	生命環境学科	理科	理科
人間科学部	環境・バイオサイエンス学科		

大学院（取得可能免許：中高専修免許状）

		中学校	高等学校
文学研究科	英文学専攻	英語	英語
	比較文化学専攻	国語	国語
		社会	-
	-	地理歴史	
音楽研究科	音楽芸術表現専攻	音楽	音楽
人間科学研究科	人間科学専攻	理科	理科

### ●教職課程運営組織（教職センター）

ディレクター	奥野 佐矢子（総合文化学科 教授）
教員	<b>■教科担当</b> [英語科] 白井 由美子（英語学科、英文学科 教授） [国語科] 田村 美由紀（総合文化学科 専任講師） [社会科] 河島 真（総合文化学科 教授） [音楽科] 松浦 修（音楽学科 教授） [理科] 佐藤 友亮（生命環境学科、環境・バイオサイエンス学科 教授）
	<b>■教職担当</b> 奥野 佐矢子（総合文化学科 教授） 伊井 直比呂（総合文化学科 特任教授）
職員	教務課所属：1名、教職センター所属：2名

### ●教職専任教員数

科目区分	学部・学科・専攻（教科）		専任教員数 (必要専任教員数)	
	教科及び 教科の指導法 に関する科目	国際学部	英語学科	9 (3)
文学部		英文学科		14 (3)
		総合文化学科	(国 語)	3 (3)
			(社 会)	7 (4)
			(地理歴史)	4 (3)
			(公 民)	9 (3)
音楽学部		音楽学科	音楽表現専攻	6 (4)
			音楽キャリアデザイン専攻	
			器楽専攻	9 (3)
			声楽専攻	6 (3)
			ミュージック・クリエイション専攻	6 (3)
生命環境学部		生命環境学科	8 (4)	
人間科学部		環境・バイオサイエンス学科	8 (4)	
文学研究科		英文学専攻		12 (3)
	比較文化学専攻	(国 語)	3 (3)	
		(社 会)	17 (4)	
	(地理歴史)	10 (3)		
音楽研究科	音楽芸術表現専攻	10 (3)		
人間科学研究科	人間科学専攻	8 (4)		
教育の 基礎的理解 に関する科目	全学部・大学院共通		2 (2)	

### ●教職専任教員の業績

[教育の特徴](#) > [教員一覧](#)



Ⅲ. 教科及び教科の指導法に関する科目

1. - 1 英文学科

23000学生

教科	学校種	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学該当授業科目							
		科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修単位数		
						前	後	計			
英語	中一種・高一種	専ら	英語学	E156-1(1)	Introduction to Linguistics I [言語学入門Ⅰ]	2	2	8	8		
				E156-2(2)	Introduction to Linguistics II [言語学入門Ⅱ]	2	2	2			
				E215ab	Interpreting Theory and Technique (I) a, b [通訳理論と技術 (I) a, b]	2	2	4			
				E221ab	Phonetics a, b [音声学 a, b]	2	2	4			
				E259-1ab	Semantics I a, b [意味論 I a, b]	2	2	4			
				E259-2ab	Phonology I a, b [音韻論 I a, b]	2	2	4			
				E259-3ab	○ Syntax I a, b [統語論 a, b]	2	2	4			
				E259-4ab	Morphology a, b [形態論 a, b]	2	2	4			
				E259-5ab	○ Sociolinguistics Theory and Practice I a, b [社会言語学の理論と実践 I a, b]	2	2	4			
				E359-4ab	Psycholinguistics a, b [心理言語学 a, b]	2	2	4			
				英語文学	E171-1(1)	Introduction to Literature I [英文学入門Ⅰ]	2	2		8	8
				E171-2(2)	Introduction to Literature II [英文学入門Ⅱ]	2	2	2			
E265ab	Literature and Cinema a, b [文学と映画 a, b]	2	2	4							
E274-1ab	Shakespeare and His Age a, b [シェイクスピアとその時代 a, b]	2	2	4							
E274-2ab	Victorian Literature and Culture a, b [ヴィクトリア朝文学・文化 a, b]	2	2	4							
E274-3ab	Modern Literature and Culture a, b [近代文学・文化 a, b]	2	2	4							
E274-4ab	Romantic Literature and Culture a, b [ロマン主義文学・文化 a, b]	2	2	4							
E274-5ab	Contemporary Literature and Culture a, b [現代文学・文化 a, b]	2	2	4							
E286ab	○ British Literature and History a, b [イギリスの文学と歴史 a, b]	2	2	4							
E287ab	○ American Literature and History a, b [アメリカの文学と歴史 a, b]	2	2	4							
E361-4ab	Special Lecture in Literary Studies a, b [英語文学特論 a, b]	2	2	4							
英語コミュニケーション	E140b	English II b [英語Ⅱ b]	2	2	4	4					
E220(1)(2)	○ Advanced Writing [上級英作文]	2 or 2	2	2							
E230-1a	○ English III a [英語Ⅲ a]	2	2	2							
E230-1b	English III b [英語Ⅲ b]	2	2	2							
異文化理解	E108-1(1)	Introduction to Global Studies I [グローバル・スタディーズ入門Ⅰ]	2	2	4	4					
E108-2(2)	Introduction to Global Studies II [グローバル・スタディーズ入門Ⅱ]	2	2	2							
E206-1ab	Global Social Issues a, b [グローバル社会の諸問題 a, b]	2	2	4							
E206-2ab	Global Media and Communication a, b [グローバル社会とメディアコミュニケーション a, b]	2	2	4							
E206-3ab	International Relations a, b [国際関係の諸問題 a, b]	2	2	4							
E206-4ab	Global Business a, b [グローバル・ビジネスの諸問題 a, b]	2	2	4							
E277ab	○ American Studies a, b [アメリカ文化論 a, b] } 2科目4単位選択必修 (※注1)	2	2	4							
E279ab	○ British Studies a, b [イギリス文化論 a, b] } 2科目4単位選択必修 (※注1)	2	2	4							
E284ab	Special Lecture in Global Studies a, b [グローバル・スタディーズ特論 A a, b]	2	2	4							
E332-1a	Topics in Global Social Issues a [グローバル社会の諸問題特論 a]	2	2	2							
E332-3a	Topics in International Relations a [国際関係特論 a]	2	2	2							
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	Ed330-1(1)	○ 英語科教育法Ⅰ	2	2	8		8 or 4				
Ed330-2(2)	○ 英語科教育法Ⅱ	2	2	2							
Ed330-3(2)	○ 英語科教育法Ⅲ	2	2	4							
Ed330-4(1)	○ 英語科教育法Ⅳ	2	2	2							
必要修得単位数		中一種英語: 36 (教科に関する専門的事項: 28) ※必修 (○印) 24単位含む (各教科の指導法: 8) 高一種英語: 40 (教科に関する専門的事項: 36) ※必修 (○印) 24単位含む (各教科の指導法: 4)									

(※注1) E277ab から 2 単位かつ E279ab から 2 単位、計 4 単位以上を履修のこと。どちらか一方のみ 4 単位は不可。  
 (※注2) [中学校] 英語科教育法Ⅰ (Ed330-1(1) 2 単位)、英語科教育法Ⅱ (Ed330-2(2) 2 単位)、英語科教育法Ⅲ (Ed330-3(2) 2 単位)、英語科教育法Ⅳ (Ed330-4(1) 2 単位) の計 8 単位必修。Ed330-1(1) は Ed330-2(2) 及び Ed330-3(2) の先修。  
 [高等学校] 英語科教育法Ⅰ (Ed330-1(1) 2 単位)、英語科教育法Ⅱ (Ed330-2(2) 2 単位) の計 4 単位必修。英語科教育法Ⅲ、Ⅳは選択科目であり必修ではない。

1. - 2 英語学科

24000、25000、26000学生

教科	学校種	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学該当授業科目							
		科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修単位数		
						前	後	計			
英語	中一種・高一種	専ら	英語学	E156-1(1)	Introduction to Linguistics I [言語学入門Ⅰ]	2	2	8	8		
				E156-2(2)	Introduction to Linguistics II [言語学入門Ⅱ]	2	2	2			
				E215-1ab	Interpreting I a, b [通訳理論と技術 (I) a, b]	2	2	4			
				E221ab	Phonetics a, b [音声学 a, b]	2	2	4			
				E359-6ab	Semantics a, b [意味論 a, b]	2	2	4			
				E359-7ab	Phonology a, b [音韻論 a, b]	2	2	4			
				E259-6ab	○ Syntax a, b [統語論 a, b]	2	2	4			
				E246ab	Word Structures and Formations a, b [語構造と語形成 a, b]	2	2	4			
				E259-5ab	○ Sociolinguistics Theory and Practice I a, b [社会言語学の理論と実践 I a, b]	2	2	4			
				E359-4ab	Psycholinguistics a, b [心理言語学 a, b]	2	2	4			
				英語文学	E171-1(1)	Introduction to Literature I [英文学入門Ⅰ]	2	2		8	8
				E171-2(2)	Introduction to Literature II [英文学入門Ⅱ]	2	2	2			
E265ab	Literature and Cinema a, b [文学と映画 a, b]	2	2	4							
E274-1ab	Shakespeare and His Age a, b [シェイクスピアとその時代 a, b]	2	2	4							
E274-2ab	Victorian Literature and Culture a, b [ヴィクトリア朝文学・文化 a, b]	2	2	4							
E274-3ab	Modern Literature and Culture a, b [近代文学・文化 a, b]	2	2	4							
E274-4ab	Romantic Literature and Culture a, b [ロマン主義文学・文化 a, b]	2	2	4							
E274-5ab	Contemporary Literature and Culture a, b [現代文学・文化 a, b]	2	2	4							
E286ab	○ British Literature and History a, b [イギリスの文学と歴史 a, b]	2	2	4							
E287ab	○ American Literature and History a, b [アメリカの文学と歴史 a, b]	2	2	4							
E361-4ab	Special Lecture in Literary Studies a, b [英語文学特論 a, b]	2	2	4							
英語コミュニケーション	E140b	English II b [英語Ⅱ b]	2	2	4	4					
E244a	○ Academic Writing a [アカデミック・ライティング a]	2	2	2							
E230-1a	○ English III a [英語Ⅲ a]	2	2	2							
E230-1b	English III b [英語Ⅲ b]	2	2	2							
異文化理解	E206-1ab	Global Social Issues a, b [グローバル社会の諸問題 a, b]	2	2	4	4					
E206-2ab	Global Media and Communication a, b [グローバル社会とメディアコミュニケーション a, b]	2	2	4							
E206-3ab	International Relations a, b [国際関係の諸問題 a, b]	2	2	4							
E206-4ab	Global Business a, b [グローバル・ビジネスの諸問題 a, b]	2	2	4							
E277ab	○ American Studies a, b [アメリカ文化論 a, b] } 2科目4単位選択必修 (※注1)	2	2	4							
E279ab	○ British Studies a, b [イギリス文化論 a, b] } 2科目4単位選択必修 (※注1)	2	2	4							
E284ab	Special Lecture in Global Studies A a, b [グローバル・スタディーズ特論 A a, b]	2	2	4							
E332-1a	Topics in Global Social Issues a [グローバル社会の諸問題特論 a]	2	2	2							
E332-3a	Topics in International Relations a [国際関係特論 a]	2	2	2							
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	Ed330-1(1)	○ 英語科教育法Ⅰ	2	2	8		8 or 4				
Ed330-2(2)	○ 英語科教育法Ⅱ	2	2	2							
Ed330-3(2)	○ 英語科教育法Ⅲ	2	2	4							
Ed330-4(1)	○ 英語科教育法Ⅳ	2	2	2							
必要修得単位数		中一種英語: 36 (教科に関する専門的事項: 28) ※必修 (○印) 24単位含む (各教科の指導法: 8) 高一種英語: 40 (教科に関する専門的事項: 36) ※必修 (○印) 24単位含む (各教科の指導法: 4)									

(※注1) E277ab から 2 単位かつ E279ab から 2 単位、計 4 単位以上を履修のこと。どちらか一方のみ 4 単位は不可。  
 (※注2) [中学校] 英語科教育法Ⅰ (Ed330-1(1) 2 単位)、英語科教育法Ⅱ (Ed330-2(2) 2 単位)、英語科教育法Ⅲ (Ed330-3(2) 2 単位)、英語科教育法Ⅳ (Ed330-4(1) 2 単位) の計 8 単位必修。Ed330-1(1) は Ed330-2(2) 及び Ed330-3(2) の先修。  
 [高等学校] 英語科教育法Ⅰ (Ed330-1(1) 2 単位)、英語科教育法Ⅱ (Ed330-2(2) 2 単位) の計 4 単位必修。英語科教育法Ⅲ、Ⅳは選択科目であり必修ではない。



2. - 3

25000、26000学生

教科 学校種	教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分等		本学該当授業科目				
	科目 区分	各科目に 含めること が必要な 事項	授業科目 番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))		必修 単位数	
				前	後	計	単位数
社 中 一 種 専 門 的 事 項	日本史・ 外国史		Hs223-1(1)	○ 日本史 (I)	2	2	16
			Hs223-2(2)	○ 日本史 (II)	2	2	
			Hs223-3(1)	○ 日本史 (III)	2	2	
			Hs223-4(2)	○ 日本史 (IV)	2	2	
			Hs225-1(1)	○ 日本文化史 (I)	2	2	
			Hs225-2(2)	○ 日本文化史 (II)	2	2	
			Hs343-3(1)	○ ヨーロッパ史 (III)	2	2	
			Hs343-4(2)	○ ヨーロッパ史 (IV)	2	2	
			Hs342-1(1)	○ アメリカ史 (I)	2	2	
			Hs342-2(2)	○ アメリカ史 (II)	2	2	
Hs331-1(1)	○ アジア史研究 (I)	2	2				
Hs331-2(2)	○ アジア史研究 (II)	2	2				
地理学 (地誌を 含む。)			G251-1(1)	○ 地理学 (I)	2	2	6
			G251-2(2)	○ 地理学 (II)	2	2	
			G321(1)	○ 日本地理学	2	2	
			G341(2)	○ 外国地理学	2	2	
G265(1)	○ 地誌学	2	2				
「法学、 政治学」			SS230-1(1)	○ 法学概論 (国際法を含む) (I)	2	2	4
			SS230-2(2)	○ 法学概論 (国際法を含む) (II)	2	2	
「社会学、 経済学」			SS200-1(1)	○ 社会学概論 (I)	2	2	2
			SS200-2(2)	○ 社会学概論 (II)	2	2	
			SS203-1(1)	○ 家族社会学 (I)	2	2	
			SS203-2(2)	○ 家族社会学 (II)	2	2	
			SS386-1(1)	○ 社会病理学 (I)	2	2	
			SS386-2(2)	○ 社会病理学 (II)	2	2	
			SS202-1(1)	○ 社会理論 (I)	2	2	
			SS202-2(2)	○ 社会理論 (II)	2	2	
			Hs311-1(1)	○ 社会思想史 (I)	2	2	
			Hs311-2(2)	○ 社会思想史 (II)	2	2	
「哲学、 倫理学、 宗教学」			Ph205-1(1)	○ 哲学 (I)	2	2	4
			Ph205-2(2)	○ 哲学 (II)	2	2	
			Ph205-3(1)	○ 哲学 (III)	2	2	
			Ph205-4(2)	○ 哲学 (IV)	2	2	
			Ph234(2)	○ 倫理学 (I)	2	2	
			Ph236(1)	○ 応用倫理学 (I)	2	2	
			R243-1(1)	○ 宗教学 (I)	2	2	
			R243-2(2)	○ 宗教学 (II)	2	2	
			Ph334(1)	○ 応用倫理学 (II)	2	2	
			Ph336(2)	○ 倫理学 (II)	2	2	
R278-1(1)	○ 宗教史特講 (I)	2	2				
R278-2(2)	○ 宗教史特講 (II)	2	2				
各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)			Ed331-1(1)	○ 社会科教育法 I	2	2	8
			Ed331-2(2)	○ 社会科教育法 II	2	2	
			Ed332(1)	○ 社会科・地理歴史科教育法	2	2	
			Ed368(1)	○ 社会科・公民科教育法	2	2	
			Ed369(2)	○ 地理歴史科教育法	2	2	
Ed370(2)	○ 公民科教育法	2	2				
必要修得単位数			中一種社会：40 (教科に関する専門的事項：32) ※必修 (○印) 32単位含む (各教科の指導法：8)				

(※注) 社会科教育法 I (Ed331-1(1) 2単位)、社会科教育法 II (Ed331-2(2) 2単位)、社会科・地理歴史科教育法 (Ed332(1) 2単位)、社会科・公民科教育法 (Ed368(1) 2単位) の計 8 単位必修。  
Ed369(2)、Ed370(2) は選択科目であり、必修ではない。  
Ed331-1(1) は Ed331-2(2) の先修。これ以外の履修条件については、VI. を確認すること。

2. - 4

23000学生

教科 学校種	教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分等		本学該当授業科目						
	科目 区分	各科目に 含めること が必要な 事項	授業科目 番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))		必修 単位数			
				前	後	計	単位数		
地 理 高 一 種 専 門 的 事 項	日本史		Hs222ab	○ 日本史 (I) a、b	2	2	8		
			Hs202ab	○ 日本史 (II) a、b	2	2			
			Hs208ab	○ 歴史学入門 a、b	2	2			
			Hs225ab	○ 日本文化史 a、b	2	2			
			Hs320ab	○ 史料で探る日本の歴史 a、b	2	2			
			Hs385ab	○ 日本美術史 a、b	2	2			
			外国史	Hs319ab	○ ヨーロッパ社会史 (II) a、b	2		2	8
				Hs284ab	○ 西洋美術史 a、b	2		2	
				Hs218ab	○ ヨーロッパ社会史 (I) a、b	2		2	
				Hs342ab	○ アメリカ史 a、b	2		2	
Hs331(1)	○ アジア史研究	2		2					
Hs332(2)	○ 日本アジア関係史	2	2						
人文地理 学・自然 地理学			G251ab	○ 地理学 a、b	2	2	4		
			G321(1)	○ 日本地理学	2	2			
地誌			G341(2)	○ 外国地理学	2	2	4		
			SS358ab	○ 文化人類学 a、b	2	2			
As213(2)	○ 現代アジア地域研究 (IV) (南アジア)	2	2						
各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)			Ed332(1)	○ 社会科・地理歴史科教育法	2	2	4		
			Ed369(2)	○ 地理歴史科教育法	2	2			
必要修得単位数			高一種地理歴史：40 (教科に関する専門的事項：36) ※必修 (○印) 26単位含む (各教科の指導法：4)						

(※注) Ed332(1) は Ed369(2) の先修。これ以外の履修条件については、VI. を確認すること。

2. - 5

24000学生

教科 科 種	教育職員免許法 施行規則に定め る科目区分等		本学該当授業科目					
	科目 区分	各科目に 含めること が必要な 事項	授業科目 番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修 単位数
					前	後	計	
地 理 高 一 種 史	教科 に 関 する 専 門 的 事 項	日本史	Hs222ab	○ 日本史 (I) a, b	2	2	4	8
			Hs202ab	○ 日本史 (II) a, b	2	2	4	
			Hs208ab	歴史学入門 a, b	2	2	4	
			Hs225ab	日本文化史 a, b	2	2	4	
			Hs320ab	史料で探る日本の歴史 a, b	2	2	4	
			Hs385ab	日本美術史 a, b	2	2	4	
	関 する 専 門 的 事 項	外国史	Hs319ab	○ ヨーロッパ社会史 (II) a, b	2	2	4	8
			Hs284ab	西洋美術史 a, b	2	2	4	
			Hs218ab	ヨーロッパ社会史 (I) a, b	2	2	4	
			Hs342ab	アメリカ史 a, b	2	2	4	
専 門 的 事 項	人文地理 学・自然 地理学	G251ab	○ 地理学 a, b	2	2	4	8	
		G321(1)	○ 日本地理学	2	2	2		
専 門 的 事 項	地誌	G341(2)	○ 外国地理学	2	2	2		
		SS358ab	文化人類学 a, b	2	2	4		
専 門 的 事 項	各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	Ed332(1)	○ 社会科・地理歴史科教育法 } 4単位必修 (※注)	2	2	4		
		Ed369(2)		○ 地理歴史科教育法	2	2		
必要修得単位数		高一種地理歴史：40 (教科に関する専門的事項：36) ※必修 (○印) 26単位含む (各教科の指導法：4)						

(※注) Ed332(1)はEd369(2)の先修。これ以外の履修条件については、VI.を確認すること。

2. - 6

25000、26000学生

教科 科 種	教育職員免許法 施行規則に定め る科目区分等		本学該当授業科目					
	科目 区分	各科目に 含めること が必要な 事項	授業科目 番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修 単位数
					前	後	計	
地 理 高 一 種 史	教科 に 関 する 専 門 的 事 項	日本史	Hs223-1(1)	○ 日本史 (I)	2	2	8	
			Hs223-2(2)	○ 日本史 (II)	2	2		
			Hs223-3(1)	○ 日本史 (III)	2	2		
			Hs223-4(2)	○ 日本史 (IV)	2	2		
			Hs207-1(1)	歴史学概論 (I)	2	2		
			Hs207-2(2)	歴史学概論 (II)	2	2		
			Hs225-1(1)	日本文化史 (I)	2	2		
			Hs225-2(2)	日本文化史 (II)	2	2		
			Hs321-1(1)	日本史料講読 (I)	2	2		
			Hs321-2(2)	日本史料講読 (II)	2	2		
関 する 専 門 的 事 項	外国史	Hs285-1(1)	日本美術史 (I)	2	2			
		Hs285-2(2)	日本美術史 (II)	2	2			
		Hs343-3(1)	○ ヨーロッパ史 (III)	2	2	8		
		Hs343-4(2)	○ ヨーロッパ史 (IV)	2	2			
		Hs284-1(1)	西洋美術史 (I)	2	2			
		Hs284-2(2)	西洋美術史 (II)	2	2			
		Hs243-1(1)	ヨーロッパ史 (I)	2	2			
		Hs243-2(2)	ヨーロッパ史 (II)	2	2			
		Hs342-1(1)	アメリカ史 (I)	2	2			
		Hs342-2(2)	アメリカ史 (II)	2	2			
専 門 的 事 項	人文地理 学・自然 地理学	Hs331-1(1)	○ アジア史研究 (I)	2	2			
		Hs331-2(2)	○ アジア史研究 (II)	2	2			
		G251-1(1)	○ 地理学 (I)	2	2	8		
		G251-2(2)	○ 地理学 (II)	2	2			
		G321(1)	○ 日本地理学	2	2			
		G341(2)	○ 外国地理学	2	2			
		SS358-1(1)	文化人類学 (I)	2	2			
		SS358-2(2)	文化人類学 (II)	2	2			
		CC275-4(2)	地域研究 (IV)	2	2			
		専 門 的 事 項	地誌	G265(1)	○ 地誌学	2	2	2
各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	Ed332(1)			○ 社会科・地理歴史科教育法 } 4単位必修 (※注)	2	2	4	
Ed369(2)	○ 地理歴史科教育法	2	2					
必要修得単位数		高一種地理歴史：40 (教科に関する専門的事項：36) ※必修 (○印) 26単位含む (各教科の指導法：4)						

(※注) Ed332(1)はEd369(2)の先修。これ以外の履修条件については、VI.を確認すること。





2. -11

25000、26000学生

教科	学校種	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学該当授業科目											
		科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目番号	授業科目名(○は教職必修(選択必修含む))	単位数			必修単位数						
						前	後	計							
国	中	語	専	門	的	事	項	国語学	J106(1)(2)	○日本語表現法	2	or	2	2	6
								J109-1(1)	日本語学入門(Ⅰ)	2	2	2			
								J109-2(2)	日本語学入門(Ⅱ)	2	2	2			
								J208-1(1)	○日本語学総論(Ⅰ)	2	2	2			
								J208-2(2)	○日本語学総論(Ⅱ)	2	2	2			
								J218(2)	日本語学特論	2	2	2			
								J275-1(1)	社会言語学(Ⅰ)	2	2	2			
								J275-2(2)	社会言語学(Ⅱ)	2	2	2			
								J373-1(1)	日本語学研究(Ⅰ)	2	2	2			
								J373-2(2)	日本語学研究(Ⅱ)	2	2	2			
J373-3(1)	日本語学研究(Ⅲ)	2	2	2											
J373-4(2)	日本語学研究(Ⅳ)	2	2	2											
国文学	Hs287-1(1)	日本芸能史(Ⅰ)	2	2	2	12									
(国文学史を含む。)	Hs287-2(2)	日本芸能史(Ⅱ)	2	2	2										
J225(2)	○日本文学概論(Ⅰ)	2	2	2											
J226(1)	○日本文学概論(Ⅱ)	2	2	2											
J252-1(1)	日本古典文学研究(Ⅰ)	2	2	2											
J252-2(1)	日本古典文学研究(Ⅱ)	2	2	2											
J250-1(2)	日本近現代文学研究(Ⅰ)	2	2	2											
J250-2(2)	日本近現代文学研究(Ⅱ)	2	2	2											
J315-1(2)	○日本古典文学講読(Ⅰ)	2	2	2											
J315-2(2)	○日本古典文学講読(Ⅱ)	2	2	2											
J316-1(1)	○日本近現代文学講読(Ⅰ)	2	2	2											
J316-2(1)	○日本近現代文学講読(Ⅱ)	2	2	2											
J355(1)	○日本文学史(Ⅰ)	2	2	2											
J356(2)	○日本文学史(Ⅱ)	2	2	2											
J380-1(1)	日本文化・文学研究(Ⅰ)	2	2	2											
J380-2(2)	日本文化・文学研究(Ⅱ)	2	2	2											
J380-3(1)	日本文化・文学研究(Ⅲ)	2	2	2											
J380-4(2)	日本文化・文学研究(Ⅳ)	2	2	2											
漢文学	Cu114(1)	アジア文化・文学入門	2	2	2	2									
	Cu214-3(2)	アジアの文化・文学	2	2	2										
	As204(1)	○アジア文化・文学セミナー(漢文学)	2	2	2										
	As300(2)	アジア文化・文学論	2	2	2										
書道(書写を中心とする。)	J388(1)	○書道・書道史	2	2	2	2									
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	Ed339-1(1)	○国語科教育法Ⅰ	2	2	2	8									
	Ed339-2(2)	○国語科教育法Ⅱ	2	2	2										
	Ed339-3(2)	○国語科教育法Ⅲ	2	2	2										
	Ed339-4(1)	○国語科教育法Ⅳ	2	2	2										
必要修得単位数				中一種国語：36 (教科に関する専門的事項：28) ※必修(○印)22単位含む (各教科の指導法：8)											

(※注)・Ed339-1(1)はEd339-2(2)及びEd339-3(2)の先修。  
 ・Ed339-1(1)、Ed339-4(1)については、教科に関する専門的事項の「国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)」及び「国文学(国文学史を含む。)」の科目区分からそれぞれ単位を修得し、12単位を履修済みであることを履修条件とする。  
 ・Ed339-3(2)については、Ed339-1(1)とJ388(1)(教科に関する専門的事項の“書道(書写を中心とする。)”を履修済みであることを履修条件とする。

2. -12

25000、26000学生

教科	学校種	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学該当授業科目													
		科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目番号	授業科目名(○は教職必修(選択必修含む))	単位数			必修単位数								
						前	後	計									
国	高	一	種	語	専	門	的	事	項	国語学	J106(1)(2)	○日本語表現法	2	or	2	2	6
										J109-1(1)	日本語学入門(Ⅰ)	2	2	2			
										J109-2(2)	日本語学入門(Ⅱ)	2	2	2			
										J208-1(1)	○日本語学総論(Ⅰ)	2	2	2			
										J208-2(2)	○日本語学総論(Ⅱ)	2	2	2			
										J218(2)	日本語学特論	2	2	2			
										J275-1(1)	社会言語学(Ⅰ)	2	2	2			
										J275-2(2)	社会言語学(Ⅱ)	2	2	2			
										J373-1(1)	日本語学研究(Ⅰ)	2	2	2			
										J373-2(2)	日本語学研究(Ⅱ)	2	2	2			
J373-3(1)	日本語学研究(Ⅲ)	2	2	2													
J373-4(2)	日本語学研究(Ⅳ)	2	2	2													
国文学	Hs287-1(1)	日本芸能史(Ⅰ)	2	2	2	12											
(国文学史を含む。)	Hs287-2(2)	日本芸能史(Ⅱ)	2	2	2												
J225(2)	○日本文学概論(Ⅰ)	2	2	2													
J226(1)	○日本文学概論(Ⅱ)	2	2	2													
J252-1(1)	日本古典文学研究(Ⅰ)	2	2	2													
J252-2(1)	日本古典文学研究(Ⅱ)	2	2	2													
J250-1(2)	日本近現代文学研究(Ⅰ)	2	2	2													
J250-2(2)	日本近現代文学研究(Ⅱ)	2	2	2													
J315-1(2)	○日本古典文学講読(Ⅰ)	2	2	2													
J315-2(2)	○日本古典文学講読(Ⅱ)	2	2	2													
J316-1(1)	○日本近現代文学講読(Ⅰ)	2	2	2													
J316-2(1)	○日本近現代文学講読(Ⅱ)	2	2	2													
J355(1)	○日本文学史(Ⅰ)	2	2	2													
J356(2)	○日本文学史(Ⅱ)	2	2	2													
J380-1(1)	日本文化・文学研究(Ⅰ)	2	2	2													
J380-2(2)	日本文化・文学研究(Ⅱ)	2	2	2													
J380-3(1)	日本文化・文学研究(Ⅲ)	2	2	2													
J380-4(2)	日本文化・文学研究(Ⅳ)	2	2	2													
漢文学	As204(1)	○アジア文化・文学セミナー(漢文学)	2	2	2	2											
	As300(2)	アジア文化・文学論	2	2	2												
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	Ed339-1(1)	○国語科教育法Ⅰ	2	2	2	4											
	Ed339-2(2)	○国語科教育法Ⅱ	2	2	2												
	Ed339-3(2)	○国語科教育法Ⅲ	2	2	2												
	Ed339-4(1)	○国語科教育法Ⅳ	2	2	2												
必要修得単位数				高一種国語：40 (教科に関する専門的事項：36) ※必修(○印)20単位含む (各教科の指導法：4)													

(※注)・Ed339-3(2)とEd339-4(1)は選択科目であり必修ではない。  
 ・Ed339-1(1)はEd339-2(2)の先修。  
 ・Ed339-1(1)、Ed339-4(1)については、教科に関する専門的事項の「国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)」及び「国文学(国文学史を含む。)」の科目区分からそれぞれ単位を修得し、12単位を履修済みであることを履修条件とする。

3. - 1 音楽学科

<器楽専攻>

23000学生

教 学 科 種	教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分等		本学該当授業科目					
	科目 区分	各科目に 含めること が必要な 事項	授業科目 番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修 単位数
					前	後	計	
音 楽 一 種 ・ 高 一 種	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	ソルフェージュ	M102ab	○ソルフェージュ (I) a, b	1	1	2	2
		声楽 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	M167 M148ab	○声楽 (副専攻) (I) ○合唱 (I) (日本の伝統的な歌唱を含む。)	1	1	2	4
		器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	M343ab M383(1)(2)	○器楽 (主専攻) (I) ○器楽 (主専攻) (II) ○器楽 (主専攻) (III) ○器楽 (主専攻) (IV) ○伴奏法 a, b ○合奏 (和楽器を含む)	3	3	6	15
		指揮法	M347(1)(2)	○指揮法	2	or 2	2	2
		音楽理論・作曲法 (編曲を含む。)	M122ab M222ab M106ab M206ab	○音楽史 (I) (諸民族の音楽を含む) a, b ○音楽史 (II) (諸民族の音楽を含む) a, b ○和声学 (I) a, b ○和声学 (II) a, b	2	2	4	22
		音楽史 (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	*M307-1(1) M208(2) M373	○対位法 (I) (ピアノ・オルガン・チェンバロ専攻のみ必修) ○楽式論 ○作曲 (副専攻) (I)	2	2	4	20
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	Ed333-1(1) Ed333-2(1) Ed333-3(2) Ed333-4(2)	○音楽科教育法 I ○音楽科教育法 II ○音楽科教育法 III ○音楽科教育法 IV	2	2	2	8
		必要修得単位数	中一種音楽: 53 (ピアノ・オルガン・チェンバロ専攻) 51 (上記以外専攻) (教科に関する専門的事項: 45or43) ※必修 (○印) 45or43単位含む (各教科の指導法: 8) 高一種音楽: 49 (ピアノ・オルガン・チェンバロ専攻) 47 (上記以外専攻) (教科に関する専門的事項: 45or43) ※必修 (○印) 45or43単位含む (各教科の指導法: 4)					

(※注) [中学校] 音楽科教育法 I (Ed333-1(1) 2 単位)、音楽科教育法 II (Ed333-2(1) 2 単位)、音楽科教育法 III (Ed333-3(2) 2 単位)、音楽科教育法 IV (Ed333-4(2) 2 単位) の計 8 単位必修。Ed333-1(1) は Ed333-3(2) 及び Ed333-4(2) の先修。  
[高等学校] 音楽科教育法 I (Ed333-1(1) 2 単位)、音楽科教育法 III (Ed333-3(2) 2 単位) の計 4 単位必修。Ed333-1(1) は Ed333-3(2) 及び Ed333-4(2) の先修。音楽科教育法 II、IV は選択科目であり必修ではない。

3. - 2

<声楽専攻>

23000学生

教 学 科 種	教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分等		本学該当授業科目					
	科目 区分	各科目に 含めること が必要な 事項	授業科目 番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修 単位数
					前	後	計	
音 楽 一 種 ・ 高 一 種	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	ソルフェージュ	M102ab	○ソルフェージュ (I) a, b	1	1	2	2
		声楽 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	M165 M265 M365 M465 M148ab	○声楽 (主専攻) (I) ○声楽 (主専攻) (II) ○声楽 (主専攻) (III) ○声楽 (主専攻) (IV) ○合唱 (I) (日本の伝統的な歌唱を含む。)	3	3	6	14
		器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	M153 M253 M353 M453 M343ab M383(1)(2)	○ピアノ (副専攻) (I) ○ピアノ (副専攻) (II) ○ピアノ (副専攻) (III) ○ピアノ (副専攻) (IV) ○伴奏法 a, b ○合奏 (和楽器を含む)	1	1	2	7
		指揮法	M347(1)(2)	○指揮法	2	or 2	2	2
		音楽理論・作曲法 (編曲を含む。)	M122ab M222ab M106ab M206ab	○音楽史 (I) (諸民族の音楽を含む) a, b ○音楽史 (II) (諸民族の音楽を含む) a, b ○和声学 (I) a, b ○和声学 (II) a, b	2	2	4	22
		音楽史 (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	M307-1(1) M208(2) M317(2) M373	○対位法 (I) ○楽式論 ○音声学 ○作曲 (副専攻) (I)	2	2	2	2
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	Ed333-1(1) Ed333-2(1) Ed333-3(2) Ed333-4(2)	○音楽科教育法 I ○音楽科教育法 II ○音楽科教育法 III ○音楽科教育法 IV	2	2	2	8
		必要修得単位数	中一種音楽: 55 (教科に関する専門的事項: 47) ※必修 (○印) 47単位含む (各教科の指導法: 8) 高一種音楽: 51 (教科に関する専門的事項: 47) ※必修 (○印) 47単位含む (各教科の指導法: 4)					

(※注) [中学校] 音楽科教育法 I (Ed333-1(1) 2 単位)、音楽科教育法 II (Ed333-2(1) 2 単位)、音楽科教育法 III (Ed333-3(2) 2 単位)、音楽科教育法 IV (Ed333-4(2) 2 単位) の計 8 単位必修。Ed333-1(1) は Ed333-3(2) 及び Ed333-4(2) の先修。  
[高等学校] 音楽科教育法 I (Ed333-1(1) 2 単位)、音楽科教育法 III (Ed333-3(2) 2 単位) の計 4 単位必修。Ed333-1(1) は Ed333-3(2) 及び Ed333-4(2) の先修。音楽科教育法 II、IV は選択科目であり必修ではない。

3. - 3

<ミュージック・クリエイション専攻>

23000学生

教科	学校種	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学該当授業科目							
		科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修単位数		
						前	後	計			
音楽	中一種・高一種	教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	M102ab	○ ソルフェージュ (I) a, b	1	1	2	2		
			声楽 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	M167 M148ab	○ 声楽 (副専攻) (I) ○ 合唱 (I) (日本の伝統的な歌唱を含む。)	1	1	2	4		
			器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	M153 M253 M353 M453 M343ab M383(1)(2)	○ ピアノ (副専攻) (I) ○ ピアノ (副専攻) (II) ○ ピアノ (副専攻) (III) ○ ピアノ (副専攻) (IV) ○ 伴奏法 a, b ○ 合奏 (和楽器を含む)	1	1	2	7		
			指揮法	M347(1)(2)	○ 指揮法	2	0	2	2		
			音楽理論・作曲法 (編曲を含む。)	M122ab M222ab M171-1 M271-1 M371-1 M471-1	○ 音楽史 (I) (諸民族の音楽を含む) a, b ○ 音楽史 (II) (諸民族の音楽を含む) a, b ○ 創作 Major (I) ○ 創作 Major (II) ○ 創作 Major (III) ○ 創作 Major (IV)	2	2	4	32		
			各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	Ed333-1(1) Ed333-2(1) Ed333-3(2) Ed333-4(2)	○ 音楽科教育法 I ○ 音楽科教育法 II ○ 音楽科教育法 III ○ 音楽科教育法 IV	2	2	2	8		
			必要修得単位数		中一種音楽: 55 (教科に関する専門的事項: 47) ※必修 (○印) 47単位含む (各教科の指導法: 8)						
					高一種音楽: 51 (教科に関する専門的事項: 47) ※必修 (○印) 47単位含む (各教科の指導法: 4)						
					2科目4単位選択必修						
					2 or 2						
					2, 2, 4						
					3, 3, 6						
					3, 3, 6						
					3, 3, 6						

(※注) [中学校] 音楽科教育法 I (Ed333-1(1) 2 単位)、音楽科教育法 II (Ed333-2(1) 2 単位)、音楽科教育法 III (Ed333-3(2) 2 単位)、音楽科教育法 IV (Ed333-4(2) 2 単位) の計 8 単位必修。Ed333-1(1) は Ed333-3(2) 及び Ed333-4(2) の先修。  
[高等学校] 音楽科教育法 I (Ed333-1(1) 2 単位)、音楽科教育法 III (Ed333-3(2) 2 単位) の計 4 単位必修。Ed333-1(1) は Ed333-3(2) 及び Ed333-4(2) の先修。音楽科教育法 II、IV は選択科目であり必修ではない。

3. - 4

<音楽表現専攻> <音楽キャリアデザイン専攻>

24000、25000、26000学生

教科	学校種	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学該当授業科目							
		科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修単位数		
						前	後	計			
音楽	中一種・高一種	教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	M102ab	○ソルフェージュ I a, b	1	1	2	2		
			声楽 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	M165 M167 M148ab	○ 専門実技 (声楽) I (声楽専修生) ○ 副科実技 (声楽) (声楽専修生以外) ○ 合唱 I (日本の伝統的な歌唱を含む) a, b	3	3	6	8		
			器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	M151 M153 M343ab M383(1)(2)	○ 専門実技 (ピアノ) I (ピアノ専修生) ○ 副科実技 (ピアノ) (ピアノ専修生以外) ○ 伴奏法 a, b ○ 合奏 (和楽器を含む)	3	3	6	9		
			指揮法	M347-1(1)(2)	○ 指揮法基礎	2	0	2	2		
			音楽理論・作曲法 (編曲を含む。)	M222-1ab M322-1ab M106-1ab M206-1ab M220-1(2) M377 M171-1	○ 音楽史 I (諸民族の音楽を含む) a, b ○ 音楽史 II (諸民族の音楽を含む) a, b ○ 音楽理論 I a, b ○ 音楽理論 II a, b ○ 日本伝統音楽と民族音楽 ○ 教職作曲 (ミュージック・クリエイション専修生以外) ○ 専門実技 (創作) I (ミュージック・クリエイション専修生)	2	2	4	24		
			各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	Ed333-1(1) Ed333-2(1) Ed333-3(2) Ed333-4(2)	○ 音楽科教育法 I ○ 音楽科教育法 II ○ 音楽科教育法 III ○ 音楽科教育法 IV	2	2	2	8		
			必要修得単位数		中一種音楽: 45 (ピアノ・声楽・ミュージック・クリエイション専修) 41 (上記専修以外・音楽キャリアデザイン専攻) (教科に関する専門的事項: 37or33) ※必修 (○印) 37or33単位含む (各教科の指導法: 8)						
					高一種音楽: 41 (ピアノ・声楽・ミュージック・クリエイション専修) 37 (上記専修以外・音楽キャリアデザイン専攻) (教科に関する専門的事項: 37or33) ※必修 (○印) 37or33単位含む (各教科の指導法: 4)						
					2 or 2						
					2, 2, 4						
					2, 2, 4						
					2, 2, 4						
					2, 2						
					3 - 3						

(※注) [中学校] 音楽科教育法 I (Ed333-1(1) 2 単位)、音楽科教育法 II (Ed333-2(1) 2 単位)、音楽科教育法 III (Ed333-3(2) 2 単位)、音楽科教育法 IV (Ed333-4(2) 2 単位) の計 8 単位必修。Ed333-1(1) は Ed333-3(2) 及び Ed333-4(2) の先修。  
[高等学校] 音楽科教育法 I (Ed333-1(1) 2 単位)、音楽科教育法 III (Ed333-3(2) 2 単位) の計 4 単位必修。Ed333-1(1) は Ed333-3(2) 及び Ed333-4(2) の先修。音楽科教育法 II、IV は選択科目であり必修ではない。

4. - 1 環境・バイオサイエンス学科

23000学生

教科	学校種	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学該当授業科目								
		科目区分	授業科目番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修単位数				
					前	後	計					
理	中	専	門	的	事	項	物理学	Sc213(1)	○ 物理学概論	2	2	2
							物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	Sc211(2)	○ 物理学実習 (講義を含む)	2	2	2
							化学	Sc122-1(2)	○ 化学概論 生物有機化学 生化学 生態毒性学 生物反応速度論	2	2	4
								Sc161(2)		2	2	
								Sc343(1)		2	2	
								Sc324(1)		2	2	
								Sc332(2)		2	2	
							化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	ES119(1)(2)	環境科学基礎実習 (講義を含む) バイオサイエンス基礎実習 (講義を含む)	2 or 2	2	2
								Sc178(1)(2)		2 or 2	2	
							生物学	○ 生物学概論 自然観察入門 生物の適応と進化 地球生物圏の科学 生命科学概論 栄養生理学 植物生態学 動物生態学 人体の構造と機能 a, b バイオテクノロジー概論 病気の細胞生物学 健康医学	2 単位選択必修	2	2	4
										Sc131(1)(2)	2 or 2	2
										Sc132(2)	2	2
										Sc152(1)	2	2
										Sc160(2)	2	2
HE253(2)	2	2										
Sc234(2)	2	2										
Sc236(1)	2	2										
Sc241ab	2	2										
Sc374(1)	2	2										
Sc377(2)	2	2										
Sc444(1)	2	2										
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	Sc267(1)(2)	○ 生命の科学実習 (講義を含む) 微生物学実習 (講義を含む) 生態学実習 I (講義を含む) 生態学実習 II (講義を含む)	2 or 2	2	4							
	Sc273(1)(2)		2 or 2	2								
	Sc370(1)		2	2								
Sc379(2)	2	2										
地学	Sc353(1)	○ 地学概論	2	2	2							
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	Sc358(2)	○ 地学実習 (講義を含む)	2	2	2							
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	Ed336-1(1)	○ 理科教育法 I ○ 理科教育法 II ○ 理科教育法 III ○ 理科教育法 IV	2	2	8							
	Ed336-2(2)		2	2								
	Ed336-3(1)		2	2								
	Ed336-4(2)		2	2								
必要修得単位数				中一種理科 : 36 (教科に関する専門的事項 : 28) ※必修 (○印) 22単位含む (各教科の指導法 : 8)								

(※注) Ed336-1(1)はEd336-2(2)及びEd336-4(2)の先修。

4. - 2

23000学生

教科	学校種	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学該当授業科目								
		科目区分	授業科目番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修単位数				
					前	後	計					
理	高	専	門	的	事	項	物理学	Sc213(1)	○ 物理学概論	2	2	2
							化学	Sc122-1(2)	○ 化学概論 生物有機化学 生化学 生態毒性学 生物反応速度論	2	2	4
								Sc161(2)		2	2	
								Sc343(1)		2	2	
								Sc324(1)		2	2	
								Sc332(2)		2	2	
							生物学	Sc138-1(2)	○ 生物学概論 自然観察入門 生物の適応と進化 地球生物圏の科学 生命科学概論 栄養生理学 植物生態学 動物生態学 人体の構造と機能 a, b バイオテクノロジー概論 病気の細胞生物学 健康医学	2	2	4
								Sc131(1)(2)		2 or 2	2	
								Sc132(2)		2	2	
								Sc152(1)		2	2	
								Sc160(2)		2	2	
								HE253(2)		2	2	
								Sc234(2)		2	2	
								Sc236(1)		2	2	
Sc241ab	2	2										
Sc374(1)	2	2										
Sc377(2)	2	2										
Sc444(1)	2	2										
地学	Sc353(1)	○ 地学概論	2	2	2							
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。) 化学実験 (コンピュータ活用を含む。) 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。) 地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	Sc211(2)	○ 物理学実習 (講義を含む) ○ 地学実習 (講義を含む) 環境科学基礎実習 (講義を含む) バイオサイエンス基礎実習 (講義を含む) 生命の科学実習 (講義を含む)* 微生物学実習 (講義を含む) 生態学実習 I (講義を含む)* 生態学実習 II (講義を含む) * Sc267(1)(2)生命の科学実習とSc370(1)生態学実習 Iは、合わせて2科目4単位を履修するものとし、一方だけの履修は認めない。	2	2	10							
	Sc358(2)		2	2								
	ES119(1)(2)		2 or 2	2								
	Sc178(1)(2)		2 or 2	2								
	Sc267(1)(2)		2 or 2	2								
	Sc273(1)(2)		2 or 2	2								
	Sc370(1)		2	2								
Sc379(2)	2	2										
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	Ed336-1(1)	○ 理科教育法 I ○ 理科教育法 II ○ 理科教育法 III ○ 理科教育法 IV	2	2	4							
	Ed336-2(2)		2	2								
	Ed336-3(1)		2	2								
	Ed336-4(2)		2	2								
必要修得単位数				高一種理科 : 40 (教科に関する専門的事項 : 36) ※必修 (○印) 22単位含む (各教科の指導法 : 4)								

(※注) Ed336-1(1)はEd336-2(2)及びEd336-4(2)の先修。

理科教育法 I (Ed336-1(1) 2 単位)、理科教育法 II (Ed336-2(2) 2 単位) の計 4 単位必修。理科教育法 III、IV は選択科目であり必修ではない。

4. - 3

24000学生

教 科 種 別	学 校 種 別	教育職員免許法 施行規則に定め る科目区分等		本 学 該 当 授 業 科 目							
		科目 区分	各科目に 含めること が必要な 事項	授業科目 番 号	授 業 科 目 名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修 単位数		
						前	後	計			
理 中 一 種 事 項	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	物理学	Sc213(1)	○ 物理学概論	2	2	2				
		化学	Sc122-1(2) Sc161(2) Sc343(1) Sc324(1)	○ 化学概論 生物有機化学 生化学 生態毒性学	2	2	2	2	4		
		生物学	Sc138-1(2) Sc131(1)(2) Sc132(2) Sc152(1) HE253(2) Sc234(2) Sc236(1) Sc241ab Sc377(2) Sc444(1)	○ 生物学概論 自然観察入門 生物の適応と進化 地球生物圏の科学 栄養生理学 植物生態学 動物生態学 人体の構造と機能 a、b 病気の細胞生物学 健康医学	2 2 or 2	2 2	2 2	2 2	4		
		地学	Sc353(1)	○ 地学概論	2	2	2				
		物理学実 験・化学 実験・生 物学実 験・地学 実験	Sc211(2) ES119(1)(2) Sc167(1)(2) Sc267(1)(2) Sc370(1) Sc379(2) Sc358(2)	○ 物理学実習 (講義を含む) 環境科学基礎実習 (講義を含む) 生命科学基礎実習 (講義を含む) ○ 生命の科学実習 (講義を含む) ○ 生態学実習 I (講義を含む) 生態学実習 II (講義を含む) ○ 地学実習 (講義を含む)	2 2 or 2 2 or 2 2 or 2 2 2 2	2 2 2 2	2 2	2 2	10		
		各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	Ed336-1(1) Ed336-2(2) Ed336-3(1) Ed336-4(2)	○ 理科教育法 I ○ 理科教育法 II ○ 理科教育法 III ○ 理科教育法 IV	2 2 2 2	2 2 2	2 2	2 2	8		
		必要修得単位数		中一種理科：36 (教科に関する専門的事項：28) ※必修 (○印) 22単位含む (各教科の指導法：8)							

(※注) Ed336-1(1)は Ed336-2(2)及び Ed336-4(2)の先修。

4. - 4

24000学生

教 科 種 別	学 校 種 別	教育職員免許法 施行規則に定め る科目区分等		本 学 該 当 授 業 科 目							
		科目 区分	各科目に 含めること が必要な 事項	授業科目 番 号	授 業 科 目 名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			必修 単位数		
						前	後	計			
理 高 一 種 事 項	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	物理学	Sc213(1)	○ 物理学概論	2	2	2				
		化学	Sc122-1(2) Sc161(2) Sc343(1) Sc324(1)	○ 化学概論 生物有機化学 生化学 生態毒性学	2 2 2 2	2 2	2 2	2 2	4		
		生物学	Sc138-1(2) Sc131(1)(2) Sc132(2) Sc152(1) HE253(2) Sc234(2) Sc236(1) Sc241ab Sc377(2) Sc444(1)	○ 生物学概論 自然観察入門 生物の適応と進化 地球生物圏の科学 栄養生理学 植物生態学 動物生態学 人体の構造と機能 a、b 病気の細胞生物学 健康医学	2 2 or 2	2 2	2 2	2 2	4		
		地学	Sc353(1)	○ 地学概論	2	2	2				
		「物理学 実験、化 学実験、 生物学実 験、地学 実験」	Sc211(2) Sc358(2) ES119(1)(2) Sc167(1)(2) Sc267(1)(2) Sc370(1) Sc379(2)	○ 物理学実習 (講義を含む) ○ 地学実習 (講義を含む) 環境科学基礎実習 (講義を含む) 生命科学基礎実習 (講義を含む) 生命の科学実習 (講義を含む)* 生態学実習 I (講義を含む)* 生態学実習 II (講義を含む) * Sc267(1)(2)生命の科学実習と Sc370(1)生態学実習 Iは、合わせて2科目1単位を履修するものとし、一方だけの履修は認めない。	2 2 2 or 2 2 or 2 2 or 2 2 2	2 2	2 2	2 2	10		
		各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	Ed336-1(1) Ed336-2(2) Ed336-3(1) Ed336-4(2)	○ 理科教育法 I ○ 理科教育法 II ○ 理科教育法 III ○ 理科教育法 IV	2 2 2 2	2 2	2 2	2 2	4		
		必要修得単位数		高一種理科：40 (教科に関する専門的事項：36) ※必修 (○印) 22単位含む (各教科の指導法：4)							

(※注) Ed336-1(1)は Ed336-2(2)及び Ed336-4(2)の先修。

理科教育法 I (Ed336-1(1) 2単位)、理科教育法 II (Ed336-2(2) 2単位) の計 4 単位必修。理科教育法 III、IV は選  
択科目であり必修ではない。

4. - 5 生命環境学科

25000、26000学生

教 学 科 種 別	教育職員免許法 施行規則に定め る科目区分等		本学該当授業科目				必修 単位数	
	科目 区分	各科目に 含めるこ とが必要 な事項	授業科目 番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			
					前	後		計
理 中 一 種 科	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	物理学	Sc213(1)	○ 物理学概論	2	2	2	
		化学	Sc122-1(2)	○ 化学概論	2	2	4	
			Sc161(2)	生物有機化学	2	2		
			Sc343(1)	生化学	2	2		
			Sc324(1)	生態毒性学	2	2		
			} 2単位選択必修					
		生物学	Sc138-1(2)	○ 生物学概論	2	2	4	
			Sc131(1)(2)	自然観察入門	2 or 2	2		
			Sc132(2)	生物の適応と進化	2	2		
			Sc216(1)	景観生態学	2	2		
			HE253(2)	栄養生理学	2	2		
			Sc231(2)	分子生物学	2	2		
Sc236(1)	動物生態学		2	2				
Sc241ab	人体の構造と機能 a、b		2	2	4			
ES330(2)	環境保護論		2	2				
Sc377(2)	病気の細胞生物学		2	2				
Sc444(1)	健康医学	2	2					
地学	Sc353(1)	○ 地学概論	2	2	2			
物理学 実験・化学 実験・生 物学 実験・地学 実験	Sc211(2)	○ 物理学実習 (講義を含む)	2	2	10			
	ES119(1)(2)	環境科学基礎実習 (講義を含む)	2 or 2	2				
	Sc167(1)(2)	生命科学基礎実習 (講義を含む)	2 or 2	2				
	Sc344(1)	生化学実習 (講義を含む)	2	2				
	Sc267(1)(2)	生命の科学実習 (講義を含む)	2 or 2	2				
	Sc370(1)	○ 生態学実習 I (講義を含む)	2	2				
	Sc379(2)	生態学実習 II (講義を含む)	2	2				
	Sc358(2)	○ 地学実習 (講義を含む)	2	2				
各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	Ed336-1(1)	○ 理科教育法 I	2	2	8			
	Ed336-2(2)	○ 理科教育法 II	2	2				
	Ed336-3(1)	○ 理科教育法 III	2	2				
	Ed336-4(2)	○ 理科教育法 IV	2	2				
必要修得単位数			中一種理科 : 36 (教科に関する専門的事項 : 28) ※必修 (○印) 22単位含む (各教科の指導法 : 8)					

(※注) Ed336-1(1)はEd336-2(2)及びEd336-4(2)の先修。

4. - 6

25000、26000学生

教 学 科 種 別	教育職員免許法 施行規則に定め る科目区分等		本学該当授業科目				必修 単位数	
	科目 区分	各科目に 含めるこ とが必要 な事項	授業科目 番号	授業科目名 (○は教職必修 (選択必修含む))	単位数			
					前	後		計
理 高 一 種 科	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	物理学	Sc213(1)	○ 物理学概論	2	2	2	
		化学	Sc122-1(2)	○ 化学概論	2	2	4	
			Sc161(2)	生物有機化学	2	2		
			Sc343(1)	生化学	2	2		
			Sc324(1)	生態毒性学	2	2		
			} 2単位選択必修					
		生物学	Sc138-1(2)	○ 生物学概論	2	2	4	
			Sc131(1)(2)	自然観察入門	2 or 2	2		
			Sc132(2)	生物の適応と進化	2	2		
			Sc216(1)	景観生態学	2	2		
			HE253(2)	栄養生理学	2	2		
			Sc231(2)	分子生物学	2	2		
Sc236(1)	動物生態学		2	2				
Sc241ab	人体の構造と機能 a、b		2	2	4			
ES330(2)	環境保護論		2	2				
Sc377(2)	病気の細胞生物学		2	2				
Sc444(1)	健康医学	2	2					
地学	Sc353(1)	○ 地学概論	2	2	2			
[物理学 実験、化 学実験、 生物学実 験、地学 実験]	Sc211(2)	○ 物理学実習 (講義を含む)	2	2	10			
	Sc358(2)	○ 地学実習 (講義を含む)	2	2				
	ES119(1)(2)	環境科学基礎実習 (講義を含む)	2 or 2	2				
	Sc167(1)(2)	生命科学基礎実習 (講義を含む)	2 or 2	2				
	Sc267(1)(2)	生命の科学実習 (講義を含む)*	2 or 2	2				
	Sc344(1)	生化学実習 (講義を含む)	2	2				
	Sc370(1)	生態学実習 I (講義を含む)*	2	2				
	Sc379(2)	生態学実習 II (講義を含む)	2	2				
* Sc267(1)(2)生命の科学実習とSc370(1)生態学実習 Iは、合わせて2科目4単位を履修するものとし、一方だけの履修は認めない。								
各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	Ed336-1(1)	○ 理科教育法 I	2	2	4			
	Ed336-2(2)	○ 理科教育法 II	2	2				
	Ed336-3(1)	○ 理科教育法 III	2	2				
	Ed336-4(2)	○ 理科教育法 IV	2	2				
必要修得単位数			高一種理科 : 40 (教科に関する専門的事項 : 36) ※必修 (○印) 22単位含む (各教科の指導法 : 4)					

(※注) Ed336-1(1)はEd336-2(2)及びEd336-4(2)の先修。

理科教育法 I (Ed336-1(1) 2単位)、理科教育法 II (Ed336-2(2) 2単位) の計 4 単位必修。理科教育法 III、IV は選  
択科目であり必修ではない。

## 第4号 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること

### ●教員免許状取得者数（※個人申請は含まない）

大学	学部・研究科	学科・専攻	教科	2025		2024		2023		2022		2021		
				中学校 一種免許状	高等学校 一種免許状	中学校 一種免許状	高等学校 一種免許状	中学校 一種免許状	高等学校 一種免許状	中学校 一種免許状	高等学校 一種免許状	中学校 一種免許状	高等学校 一種免許状	
大学	文学部	英文学科	英語	6	6	5	5	13	13	12	13	5	6	
			社会	5		2		6		5		2		
		総合文化学科	地理歴史		5		2		6		3		3	
			公民		5		2		5		2		2	
			国語	8	11	9	9	5	5	7	6	6	6	
	音楽学部	音楽学科	音楽	11	11	16	16	7	7	19	20	4	5	
人間科学部	環境・バイオサイエンス学科	理科	5	7	4	4	5	7	7	7	3	3		

大学院	学部・研究科	学科・専攻	教科	2025		2024		2023		2022		2021		
				中学校 一種免許状	高等学校 一種免許状	中学校 一種免許状	高等学校 一種免許状	中学校 専修免許状	高等学校 専修免許状	中学校 専修免許状	高等学校 専修免許状	中学校 専修免許状	高等学校 専修免許状	
大学院	文学研究科	英文学専攻	英語	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
			社会	0		0		0		0		0		
		比較文化学専攻	地理歴史		0		0		0		0		0	
			国語	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
	音楽研究科	音楽芸術表現専攻	音楽	0	0	2	2	2	2	4	4	5	5	
	人間科学研究科	人間科学専攻	理科	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	

## 第5号 卒業者の教員への就職の状況に関すること

### ●教員への就職状況（2025年度）

教員への就職状況	
教諭	常勤講師・臨時任用教員
4名	10名

※1) 現役生のみ

※2) 非常勤講師は含まない

●教員採用試験合格実績／現役生（2025年度）

試験	校種	教科	人数
兵庫県	高等学校	国語	1名
東京都	中学校・高等学校	社会	1名
神戸市	中学校・高等学校	音楽	1名
福岡県	中学校	理科	1名

●常勤講師採用実績／現役生（2025年度）

試験	校種	教科	人数
神戸市	中学校	英語	1名
神戸市	中学校	国語	1名
私立（兵庫県）	高等学校	国語	1名
私立（奈良県）	高等学校	国語	1名
大阪市	中学校	社会	2名
私立（兵庫県）	中学校・高等学校	社会	1名
豊中市	中学校	音楽	1名
高槻市	中学校	音楽	1名
西宮市	小学校	音楽	1名

第6号 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

●教職センターについて

[大学紹介](#) > [附属機関](#) > [教職センター](#)

●教員採用試験特別対策講座について

[附属機関](#) > [教職センター](#) > [教員採用・ボランティア](#) > [教員採用試験特別対策講座](#)

●学校ボランティアについて

[附属機関](#) > [教職センター](#) > [教員採用・ボランティア](#) > [学校ボランティアについて](#)